

私たちは男女共同参画社会を目指します

男女共同参画社会とは「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる」社会です。（男女共同参画社会基本法より）

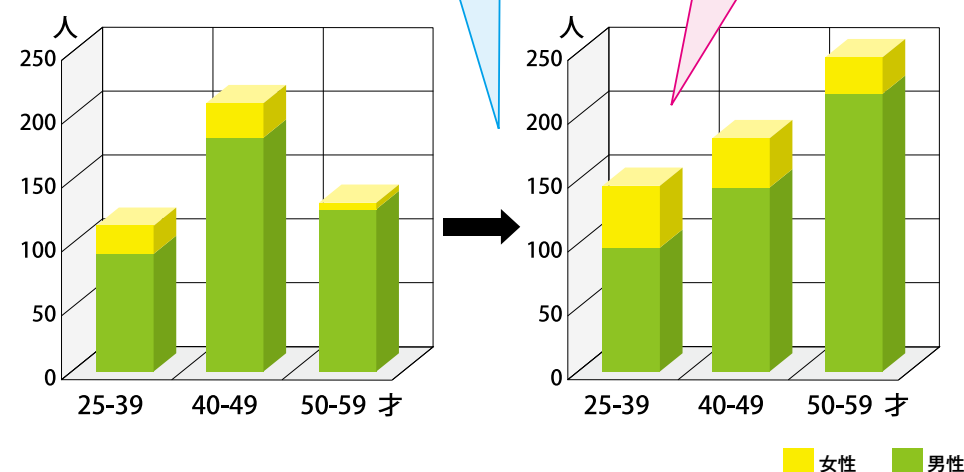
研究職の女性割合を高めます

2011年現在
女性研究者割合は11%

2020年の目標
女性研究者割合は20%

第2期中期計画期間から
積極的に女性研究者を採用

新規採用者の30%
超を女性研究者で



職員のキャリア形成を応援します

2011年現在

2015年度の目標

管理職女性割合 研究職：0% → 3% (各々)
一般職：2%

男性育休取得者 0名 → 3名以上

全職員：積極的なキャリア形成と適材適所の人材登用を推進

森林総合研究所における 男女共同参画の取組み

私たちは、男女を問わず多様な人材が活かされ、それぞれの能力が存分に発揮される魅力あふれる研究所の実現を目指し、男女共同参画の推進と仕事と家庭・人生の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るための職場環境・研究環境の整備に取り組んでいます



森林総合研究所は、1905年（明治38年）に創設された我が国唯一の森林・林業・木材産業に関する総合的な研究所です。本所（つくば市）のほか、全国各地に地域研究組織があります。



独立行政法人 森林総合研究所 男女共同参画室
〒305-8687 茨城県つくば市松の里1
TEL：029-829-8360 FAX：029-874-8507
E-mail：geneq@ffpri.affrc.go.jp URL：http://encr.ffpri.affrc.go.jp/
2012.3発行

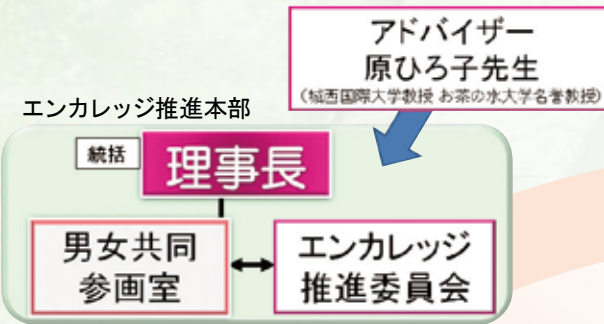
※この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



男女共同参画の取り組みの概要（第3期中期計画期間 2011～2015年度）

推進体制を整備（2009年）

男女共同参画宣言を公表（2011年）



仕事と生活の調和の推進

- ・勤務・休暇制度改善と周知
- ・所内保育室・民間保育室の利用促進（出張時・学童・病後児の利用）
- ・研究支援の充実（育児・介護を行っている研究者に研究用PCソフト貸与・研究補助員雇用費支援）
- ・テレビ会議・ウェブミーティング利用の促進

本所(つくば市)“どんぐりるーむ”



昼と縁側のある保育室



家庭的で“わきあいあい”

関西支所(京都市)“すぎのこ”

木の香りのする保育室



冬はペレットストーブで“ほかほか”



女性参画の拡大

- ・女性研究者応募促進（公募要領に「家族責任の考慮」等を明記）
- ・任期付き研究職員が産休育休を取得した場合の任期を延長
- ・管理職女性割合の目標を設定

地域社会および関連機関との連携

- ・つくば6研究教育機関との連携「つくば6研究教育機関による男女共同参画宣言」（2007年9月）
- ・つくば市周辺の独法および研究教育機関と連携・協力（DSO）
- ・市町村の男女共同参画室等関係機関との協力連携

意識啓発

- ・職員向けセミナーの実施
- ・所内重要会議での男女共同参画活動の報告、所内研修で男女共同参画に関する講義枠を設定
- ・男性の育児休業取得促進

キャリア形成等に対する支援

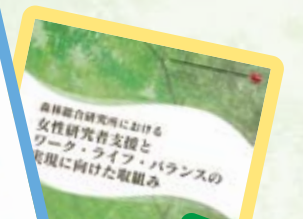
- ・女性と若手職員に対する研修機会の充実
- ・所内研究プロジェクトに育児復帰枠設定
- ・キャリアカウンセリングの実施

目標を明確化
(男女共同参画ホームページに掲載)



- ・管理職女性割合を2020年までに5%をめざし、期間中に3%に
- ・期間中の女性研究職員の応募・採用割合を30%に
- ・男性の育休取得者を期間中に3名以上に
(数値目標部分を抜粋)

森林総研男女共同参画
マスコットキャラクター
エンカちゃん



介護セミナー講師 長坂氏
「遠距離介護の試行錯誤
テレビ電話で母を見る」



所内セミナー「心と体の健康管理」受講の様子